

# 社会科学習指導案

3年3組 33名 指導者 柳田 健一

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 校区の特色について考えたことや気付いたこと、分かったことなどをリレーションマップに整理する活動が、相互の関連に気づきながら校区の特色についてのまとめ、表現するための助けとなっているか。

## 1 小単元 学校のまわり (大単元 1 わたしたちのまち みんなのまち)

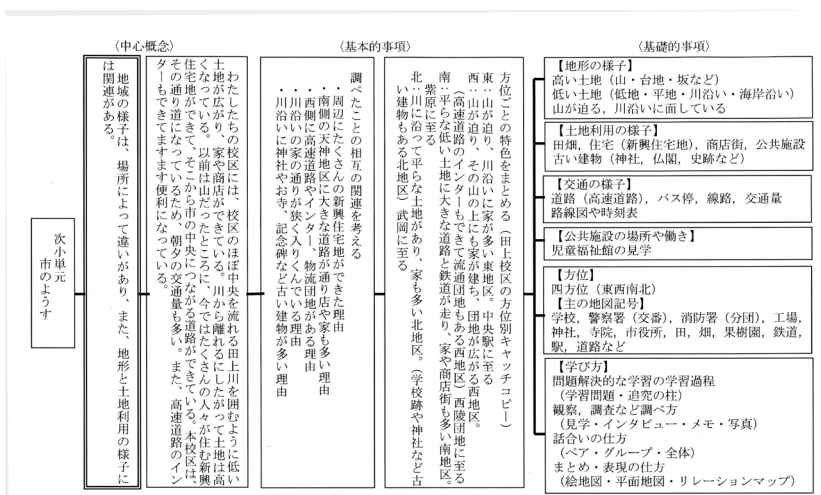
### 2 目 標

学校のまわりの様子を観察し、絵地図や平面地図に表して、場所による様子の違いや特色を具体的に考えることができるようにするとともに、身近な地域の事象・事象や特徴ある場所の様子に関心をもち、諸感覚を働かせて意欲的に調べて、身近な地域のよさに気付くことができる。

### 3 小単元の評価規準

- 学校のまわりの土地の様子や使われ方、人々の生活の様子などに関心をもち、進んで調べることができる。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 観察したことや作り上げた絵地図やリレーションマップなどをもとに、場所による地域の様子の違い(土地利用・集落の分布・交通の様子)について具体的に考えることができる。 【社会的な思考・判断】
- 学校のまわりの様子を具体的な観察を通して調べ、絵地図や平面地図に分かりやすく表現することができる。 【観察・資料活用の技能・表現】
- 学校のまわりの土地利用、集落の分布、交通の様子が分かる。 【社会的事象についての知識・理解】

### 4 小単元の構造について (概念構造図)



## 5 小単元について

### (1) 小単元の価値

本小単元の学習は、学習指導要領解説の内容(1)のアに当たる。自分たちの住んでいる身近な地域、校区の特色ある地形や土地利用の様子、公共施設や交通の様子、さらには古くから残る建造物を観察、調査したり、白地図に書き表したりして、地域の様子は場所によって違いがあることを考えることができるようにすることをねらいとして設定した。また、これらの指導を通して、方位(四方位)や主な地図記号について理解し活用できるようにすることもねらう。

本小単元は、子どもたちにとって、第3学年から始まる社会科学習の初めての学習であるため、第2学年までの生活科などの学習との関連を図り、観察・見学、体験などの具体的な活動を大切にしながら、子どもたちが地域の人々と触れ合ったり、実物や本物を直接見たり触れたりすることで社会的な事象を具体的に、実感的にとらえ、納得して理解できるようにする。また、これらの活動を通して、子どもたちが自ら社会的な事象に直接かかわって学ぶ学び方を身に付けていくこともできる。さらに、調べたことを絵地図にかき表したり、分かったことを平面地図に再構成したりするなどして、調べて分かったことや考えたことを様々な方法で表現する活動や相互に話し合い、考えを交流し合う言語活動を工夫して行うことで、本小単元のねらいを達成できるものと考えている。本小単元の学習は、この後「市のようす」の学習につながっていく。

(2) 児童の実態

子どもたちは、これまで2年生の生活科で校区内の商店や住宅などを観察し、簡単な絵地図に表現したり、バスに乗って隣町まで出かけバス利用の仕方や季節による町の様子の変化などについて学習したりしてきている。しかし、これらの学習は、自分と地域のかかわりに気付き、自立への基礎を養うことを目的としたものであり、校区の特色をとらえるまでには至っていない。また、本小単元は、社会科学習の導入単元でもあることから、問題解決的な学習過程を通して学習の仕方を身に付けさせることを意識して指導したい。さらには、工夫して観察や見学することの楽しさや、日ごろ見慣れているところでも課題をもって見つめ直すことで新たな発見に結びつく喜びを味わわせるとともに、問題を解決する過程での子どもたちの思いや気付きを「社会を見る目」へと進化・発展させていきたい。

6 指導計画 (総時数12時間)

指導に当たって リ図: リレーションマップ記入

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ・見通す	<p>1 学校のまわりの写真や田上校区の航空写真や自分の家のまわりの様子などをもとに、校区の様子を話し合い、学習問題をつくる。 【関・意・態】学校のまわりの様子に関心をもち、調べて分かったことを、絵地図をかいて知らせようとする意欲をもつ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">わたしたちの田上校区のようすは、どのようになっているのだろうか。</p>	1
	<p>2 学習問題について予想し、追究の柱を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 校区の土地の様子 (高低, 山や川など)</li> <li>◎ 土地の使われ方の様子 (田畑, 住宅・商店街・公共施設・古い建物など)</li> <li>◎ 交通の様子 (道路, バス停, 交通量, 線路など)</li> <li>◎ 働いている人の様子</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">一人一人の興味・関心を生かしながら、学習の進め方をとらえられるようにしたい。</p>	1
調べる	<p>3 追究の柱に沿って調べる。</p> <p>(1) 校舎の屋上 (高い所) から見て、方位ごとのまわりの様子はどうなっているのか調べる。 ○ 東西南北の方位 ○ 店や病院, 古い建物などの建物 ○ 自分や友達の家 【技・表】方位磁針を使い東西南北を示すことができ、屋上から見た四方の様子を絵や文でかき表すことができる。</p>	2
	<p>(2) 方位別に校区探検をして、校区の様子を調べる。【コース (方位) 別学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 見てくるものや記録の取り方などについて話し合い、探検のルールを決める。</li> <li>② 探検の計画に従って校区探検をし、見たり聞いたりしたことを絵地図に書き込む。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">公共施設の場所や施設の働きについては、見学をして調べさせる。</p>	3
	<p>(3) 方位ごとに報告会をして、リレーションマップに整理する。 【技・表】方位ごとの特色を絵地図から読み取り発表することができる。</p>	1
	<p>(4) 報告会をもとに、方位ごとの特色が表れるようにキャッチコピーをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東: 川沿いに家が多い東地区。中央駅に至る</li> <li>○ 西: 山が迫り、その山の上にも家が建ち、団地が広がる西地区。西陵団地に至る</li> <li>○ 南: 平らな低い土地に大きな道路と鉄道が走り、家や商店街も多い南地区。紫原に至る</li> <li>○ 北: 川に沿って平らな土地があり、家も多い北地区。武岡に至る</li> </ul> <p>【知・理】他グループの調べた内容から方位ごとの特色が分かる。</p>	1
まとめる・生かす	<p>4 校区の特色について、まとめる。</p> <p>(1) 校区の特色について考えたことや気付いたこと、分かったことなどをリレーションマップで整理する。 【思・判】校区の特色を土地の様子や交通の様子などと関連付けて考えることができる。</p>	1 (本時)
	<p>(2) 学習を振り返り、まとめ文を書き、校区地図を完成させる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">わたしたちの校区には、校区のほぼ中央を流れる田上川を囲むように低い土地が広がり、家や商店ができています。川から離れるにしたがって土地は高くなっています。以前は田畑や山だったところに、今ではたくさんの人々が住む住宅地ができています。そこから市の中央につながる道路ができ、本校区は、その通り道になっているため、朝夕の交通量も多い。</p> <p>【知・理】土地の様子や使われ方、交通の様子などから、校区の特色が分かる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">主な地図記号についても押さえるとともに、校区に隣接している地区に目を向けさせ、鹿児島市全体につながるよう発問を工夫したい。</p>	2

7 本 時 (10/12)

(1) 目 標

校区の特色について気付いたことや考えたこと、分かったことなどをリレーションマップに整理することができる。

(2) 評価規準

校区の特色を，土地の様子や使われ方，交通の様子などと関連付けて考えることができる。

【社会的な思考・判断】

(3) 指導に当たって

本時は、「まとめ・生かす」過程の第1時で，校区探検をして調べたことの報告会を受けて，分かったことをリレーションマップに整理し，校区の特色について話し合う活動を行う。

前時に作った方位ごとの特色を表したキャッチコピーをもとに，「なぜ，南側には，大きな道路と店が多いのですか。」や，「校区周辺の山の方に住宅が広がっているのはなぜですか。」などと問うことで，それぞれの特色の背後にある相互の関連を考え，校区全体の特色をつかむことができるようにしたい。特に，道路と町の広がりとの関連は，次の小単元の学習「市のようす」へつながるようにする。また，パソコンや大型テレビなどの教育機器を使った資料提示を行い，子どもたちの思考が促されるように工夫したい。

(4) 本時の展開 (10/12)

[ ] : 子どもの意識

④ : 資料

○ : 指導

※ : 評価

時	過程	主な学習活動と教師の手だて・評価
5	つかむ・見通す	<p>1 前時を振り返り，本時のめあてを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南側のキャッチコピーは何だったかな。</li> <li>・絵地図やリレーションマップが使えないかな。</li> <li>・キャッチコピーをつなげてもうまく校区の特色が言えないかな。</li> </ul> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>調べて分かったことや，考えたことをリレーションマップに整理しよう。</p> </div>
		<p>④ 方位ごとの写真</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>前時に作ったキャッチコピーから，方位ごとの特色を想起させる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>方位ごとの特色を土地の様子や使われ方，交通の様子などで分け共通に見られるところを校区の特色として整理していく。</p> </div>
35	調べ	<p>2 田上校区の特色を土地の様子や使われ方，交通の様子など観察の視点で分類する。</p> <p>[ ・新川（田上川）・平地と山・道路と店・新興住宅地 ]</p> <p>3 リレーションマップに整理する。（個→グループ）</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>校区の特色として挙げられるものについても「なぜ」や「どうして」などの理由を問う言葉を補足しながら観察の視点の関連についても考えられるように発問していく。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「あなたならお店はどんな所に作りますか。」と補助発問をしたり，昔の様子に分かる写真や人口増加のグラフなどの補助資料を提示したりして理由について考えられるようにする。</p> </div>
5	まとめる・生かす	<p>4 リレーションマップをもとに，全体で話し合う。</p> <p>特色1 校区の中央を田上川が流れている。</p> <p>特色2 田上川周辺の低地には，古くから家がある。</p> <p>特色3 校区周辺の高い土地には，人口増加により新興住宅地ができた。</p> <p>特色4 周辺の住宅地をつなぐ道路や高速道路ができ，校区はその通り道になっていて交通量も多い。</p> <p>[相互の関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺にたくさんの新興住宅地ができた理由</li> <li>・南側の天神地区に大きな道路が通り店や家も多い理由</li> <li>・西側に高速道路やインター，物流団地がある理由</li> <li>・川沿いの家の通りが狭く入りくんでいる理由</li> <li>・川沿いに神社やお寺，記念碑など古い建物が多い理由</li> </ul>
		<p>※ リレーションマップに整理しながら，校区の特色について考えている。（リレーションマップ・発表）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リレーションマップに整理できている子には，マップをもとに文に書き表わすことができないか助言する。</li> <li>○ 自分の考えをもつことができている子には，友達のマッピングや資料などを参考に助言する。</li> </ul> </div>
5	まとめ	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リレーションマップに自分の考えをしっかりと書けたよ。</li> <li>・予想したこととは違って，新しいことが分かってよかった。</li> </ul>